

亀石



亀石の伝説

昔 むかし、田沢川の大きな淵に大きな男亀（おがめ）が住んでいました。

田沢川の上流、古谷の亀ノ内にはとてもきれいな女亀（めがめ）がいました。田沢川の男亀は、日頃からこの女亀に恋していました。

男亀は友達の大いなる魚に「私は、古谷の女亀をお嫁に迎えたい。私の気持ちを伝えてくれないか。」と伝言を頼みました。古谷の女亀も、前々から力強いこの男亀に好意を持っていたので、魚から男亀の想いを聞いて受け入れることを返事しました。

男亀も女亀も早速、結婚の準備を進めました。

当日は、亀ノ内の獣（けもの）や鳥達が総出で、笛や太鼓のお囃子もにぎやかに田沢川を下って男亀のもとへ嫁入りしました。男亀は大喜びで女亀を迎えました。

そして男亀の意で「女亀は美しいので向こう岸で、男亀はこちら岸に、」その仲の良さは今でも続き、固い愛を現す相対巨岩になりました。

きれいな女亀は、いまでも多くの人々の目に留まり「亀石公園」の名物になっています。